

# 平成29年度静岡県医療通訳体制整備事業

## 医療従事者を対象とした医療通訳セミナー



静岡県では、平成29年度より、外国人が安心して医療を受けられる環境を整備するために、県内医療通訳体制の整備に取り組んでいます。外国人が病院を受診する時は、ことばや文化の違いなどから、心細く不安なものですが、医療従事者にとっても、どのように医療通訳者を活用して外国人患者と関わったら良いか戸惑うことが多いと思い、本研修を企画しました。

本研修では、エイズ診療を通じて、多くの外国人患者を診察した経験をお持ちの名古屋医療センターの横幕能行エイズ総合診療部長と羽柴千恵子外来副看護師長から、同センターにおける外国人診療の実態や医療通訳を導入した後の医療従事者の変化などについてのお話をお伺いします。

また、外国人が病院において戸惑う場面（入院生活等）を多言語で作成した映像から、外国人診療に役立つ情報や外国人患者への接しかたなどを紹介します。

### ◆会場

静岡済生会総合病院地下講堂  
(静岡市駿河区小鹿一丁目1番1号)

### ◆開催日時

平成30年3月6日(火)  
17:30~19:30

### ◆対象者

医療従事者、及びその関係者

### ◆参加費

無料

### ◆申込方法

氏名、電話番号、所属先を下記までご連絡ください。

### ◆主催 静岡県・(公財)静岡県国際交流協会

### ◆協力 静岡済生会総合病院

時間	内容	講師
17:30~17:45	静岡県医療通訳体制整備事業説明	静岡県 地域外交局 多文化共生課
17:45~19:15	講演 「診療現場の意識変革を促した医療通訳の導入」	国立病院機構名古屋医療センター エイズ総合診療部長 横幕 能行 氏 外来副看護師長 羽柴 知恵子 氏
19:15~19:30	外国人診療に活用できる映像の紹介	(公財)静岡県国際交流協会

#### 講師プロフィール

横幕 能行 氏 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター エイズ総合診療部長、エイズ治療開発センター センター長(兼務)  
センターの累計患者数は、1,700人以上、約1割が外国人で非英語圏出身者が多い。  
『HIV感染症の医療体制の整備に関する研究』班 研究代表者。

羽柴 知恵子氏 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター 外来副看護師長。  
医師をはじめ看護師や薬剤師、臨床心理士、医療ソーシャルワーカーといった多職種によるチームで患者と関わる。看護師としてこれまで約2,000人以上のHIVと共に生きている患者の治療や日常生活の相談対応、関係職種間の調整を行う。

(公財)静岡県国際交流協会 〒422-8067 静岡市駿河区南町14-1 水の森ビル2階

TEL:054-202-3411 FAX:054-202-0932 E-mail: info@sir.or.jp ホームページ: http://www.sir.or.jp